

5. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1] 都市福利施設の整備の必要性

(1) 現状分析

中心市街地には、中央公民館や教育総合センター、市立病院、勤労者交流センター、市民福祉プラザ、かごしま県民交流センター、国・県・市の庁舎等が多数立地しており、市民福祉の向上等に寄与している。

これまでの中心市街地活性化の取組により、鹿児島中央駅地区では、ホール等を備えた再開発ビルや地区内に不足していた託児所等を備えた複合施設を整備し、にぎわい創出や地域の子育て支援機能の充実を図っている。

いづろ・天文館地区では、千日町1・4番街区の再開発ビルにおいて、イベント等ができる広場及びホールに加えてビルの一部に鹿児島市立天文館図書館を整備したことにより、にぎわいや教育の振興と文化の発展に寄与している。また、県民・市民と在住外国人のふれあいの場として国際交流センターの整備に取り組んだ。

上町・ウォーターフロント地区では、市役所本庁舎整備の一環で、緑地空間（都市の杜）を整備し、市民が憩える空間の創出を図っている。

これらの取組により、中心市街地においては都市福利施設の集積が図られてきている。

(2) 都市福利施設の整備の必要性

このように、中心市街地には既に一定の都市福利施設が立地しているものの、第3期計画に掲載した事業で、整備が完了していない施設があることから、これらの事業の着実な推進により、にぎわい創出や交流人口の拡大に資する都市福利施設のさらなる充実を図る必要がある。

そのため、鹿児島中央駅地区においては、市立病院の再整備（増築・本棟改修）事業に取り組み、地域医療支援病院としての機能強化を図る。いづろ・天文館地区においては、東千石町12・13番街区にて商業機能や美術館、多目的広場等を併設する複合施設を整備し、商業・サービス機能の強化とにぎわい創出を目指す。

なお、第二次かごしま都市マスタープランにおいては、「にぎわいと活力のある都市」を目指し、子育て・医療・福祉が充実した次世代を育む環境づくり等を進めることとしている。

(3) フォローアップの考え方

毎年度、事業の進捗状況の調査を行い、状況に応じて事業促進などの改善措置を講じる。また、計画期間満了時に取組の検証・評価を行い、引き続き中心市街地活性化の効果的な推進を図る。

〔2〕 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

該当なし

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

該当なし

(4) 国の支援措置のないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>[事業名] 東千石町12・13番街区整備事業</p> <p>[内容] 商業施設等(商業施設・美術館・多目的広場・駐車場)の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物延べ床面積: 約6,600㎡ ・立体駐車場: 約160台 <p>[位置] 東千石町12・13番街区</p> <p>[実施時期] H26年度～</p>	<p>岩崎産業(株)、一般財団法人岩崎育英文化財団ほか</p>	<p>いづろ・天文館地区において、電車通りに接する立地を生かして、小売・飲食の商業機能と郷土出身の偉人や画家の書画を展示する美術館や多目的広場を併設する複合施設を整備する事業である。12・13番街区を一体で再開発事業計画を進めることで、都市の高度利用及び街の活性化が実現可能となる。また、鹿児島商工会議所も加えてより良い街づくりを検討し、両街区における早期の合意形成を目指す。</p> <p>商業・文化機能を持った拠点施設の整備により、商業・サービス機能の強化が図られ、にぎわいあふれるまちづくりに寄与することから、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p>[事業名] 市立病院再整備事業</p> <p>[内容] 市立病院の再整備(増築・本棟改修)</p> <p>[位置] 鹿児島中央駅地区</p> <p>[実施時期] R6年度～</p>	<p>鹿児島市</p>	<p>地域医療を担う県下の中核的医療機関として将来に渡り高度・専門医療を提供するため増築棟の新設と本棟の改修工事を行う事業である。</p> <p>病院再整備により地域医療支援病院としての機能強化が図られ、都市福利施設の整備が充実するとともに、にぎわいあふれるまちづくりに寄与することから、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		